令和６年度　枚方市バリアフリー推進協議会　議事録

日　時　：　令和７年１月 29 日（水）13 時 30 分～15 時 40 分
場　所　：　枚方市立総合福祉会館ラポールひらかた３階研修室１

（アド）：アドバイザー（学識経験者）
（構成員）：当事者、管理者、事業者
（事）　：事務局（枚方市）

１．開会
（事）
　開会挨拶
（アド）
　英国のインクルーシブデザインに関する話題提供

２．各事業者のバリアフリー化の取り組みについて
（事）
　1. 特定道路のバリアフリー化について
（事・構成員）
　2. 踏切内の安全対策について
（構成員）
　3. 枚方市バリアフリー基本構想に基づく取り組み
　（中宮中学校前交差点における信号付加装置(視覚障がい者用音響装置)の設置）

（構成員）
　エスコートゾーンの整備は令和７年３月末までに間に合うのか。今どのように進めて間に合うように考えているか。
（事）
　今月初旬から材料メーカーと協議をしている状況であり、併せて京阪電鉄との鉄道協議を進め、令和７年３月末を目指して整備していきたいと考えている。
⇒会議後、以下のとおり個別で補足説明。
　状況によっては、年度を繰り越す可能性があることを説明し、了承をいただいた。

（構成員）
　関西医大前の交差点に信号付加装置が設置されているが、４方向全部に設置しているのか。関西医大前の交差点において、枚方市駅から関西医大方向はボタンがあるが、南北道路の方向はボタンが無いと思う。交差点の道路形状は同じだと思うが、横断歩道の長さによって設置基準が違

うのか。

（構成員）

基本的に信号付加装置は交差点であれば４方向設置するが、道路形状等を勘案しながら設置している。

（アド）

道路形状等を勘案しながら設置するということであるが、一定の設置基準はあるか。

（構成員）

設置基準はない。

（構成員）

枚方市駅から関西医大方向しかボタンが無かったと思う。

（構成員）

確認させていただきたい。

⇒後日、以下のとおり構成員から回答あり。

・信号付加装置（視覚障がい者用音声装置）は全方向設置

・信号付加装置（高齢者用押ボタン）は枚方市駅からラポールひらかた側に１箇所

・エスコートゾーンは全方向設置している

（アド）

特定道路のバリアフリー化について、生活関連経路の先には障害学習市民センターがあり、この施設までの誘導が必要だと思うが繋がっているのか。

（事）

施設まで繋げて整備を完了している。

（構成員）

御殿山駅周辺地区のバリアフリー詳細設計を実施されているが、具体的な内容を教えていただけないか。

（事）

現地測量等を行ったうえで、バリアフリー整備が実施できるかを設計検討し、次年度以降工事ができるよう詳細な設計を行っている。バリアフリーに関する内容は、視覚障害者用誘導ブロックを設置することであり、現況歩道が有る場所は、現状を活用しつつ、歩道が無い場所は、歩行空間を確保するように整備を行っていく。

（アド）

詳細設計については、具体的な内容が気になるところであり、協議会資料においては整備例や絵があればより分かりやすいと感じる。

（構成員）

昨年度、視覚障害者団体の方たちと御殿山駅、牧野駅の踏切を立会した際に点字ブロックの色について、黄色が良いのか、古くなれば見えにくいのではないか等の意見があったと思うが、色に関してはどのようになっているのか。

（事）

今年度の設置箇所は、昨年度の立会いの内容を踏まえて検討しており、色に関してガイドラインに沿って設置させていただこうと考えている。

（アド）

エスコートゾーンについては、国において、踏切内のエスコートゾーンの色や形状が、交差点を横断する時と同じで良いのか検討されていると思われるので、色や形状の変更の可能性はあると感じている。今後、国の動向も確認していくこと。

（構成員）

私も立会いしたが、ガイドラインの色やエスコートゾーンが本当に良いのかを想像だけで行っていた。来年度の踏切検討箇所についても、市から立会いを依頼されたが、１回現物を見てからでないと想像だけでは何も言えないので待ってもらっている。今年度、３月３１日を目指して整備していくだろうが、整備したところに対しては、やり直しは言えないと思うので不安を感じている。

上位団体である日本視覚障害者団体連合や大阪府視覚障害者福祉協会、奈良の関係者にガイドラインの考え方を確認したところ、ガイドラインには沿ってもらいたい見解であった。枚方市だけガイドラインを変えて欲しいという意見を出しても変えられないのではないか、どうしたら良いかというのもある。

⇒会議後、以下のとおり個別で補足説明。

状況によっては、年度を繰り越す可能性があることを説明した結果、了承をいただいたが、優先的に歩道が狭い踏切に対して現地確認したい意向であったため、大阪府にも情報提供して事業を進め、現物を確認いただいたうえで、今後設置予定である踏切に対しても意見していただくことになった。

（アド）

整備した箇所についてはやり直しが難しいと思うが、視覚障害者の方が安全に通行できるような対応を検討していただきたい。全国的に経験がない中で良いものを見つけていくしかなく、エスコートゾーンを設置した箇所については、一度検証して、次に設置する時は、行政と当事者で一緒に取り組んでもらいたい。

休　　憩

２．各事業者のバリアフリー化の取り組みについて

（構成員）

4. バリアフリー料金制度の活用報告等について

（事）

5. 枚方市駅北口駅前広場の取り組みについて

（事）

6. その他の取り組みについて

（構成員）

数か月前に新幹線を利用した時のことであるが、障害者手帳があっても予約できるスマートEXにおいて、介護者の席を予約しようとしたが、横並びの席の予約の仕方が不明であった。結局、実際は異なった離れた席を予約してしまい払い戻しが必要となったため、キャンセル料を取られてしまった。スマートEXを作成する際は当事者の意見を聞いて検証等をしたのか、当事者としては分かりにくいシステムになっていると感じる。色んなケースがあるので、みんなの意見を聞いて、分かりやすくして欲しい。

京阪バスにおいては、３月に一部路線の廃止、昨年10月にも減便があり、障害福祉事業所では介護職員の通勤に支障がでたり、高齢者の通院にも影響していると聞いている。寝屋川市や交野市に関しては、市が乗り合いバスで対策する話を聞いているが、枚方市としての対策はないのかお聞きしたい。

昨年度の会議で意見した樟葉駅前の芝生による緑化について、バリアフリーとしては後退するのではないかという意見を言ったが、現地に何度か行ったところ車いすでもアクセスはできた。しかし、雨のあとはタイヤが汚れてしまうので入りたくないと思い、車いすが汚れるということは歩いている人の靴も汚れることから、実際には芝生に人がいない状況であった。イベント時は良いが、平常時の通行は見かけられなかった。このため、車いすはアクセスしにくいが、車いすではない方も避けるのではないかと感じ、平常時での人のにぎわいという意味では以前の方が少し広い空間の中でくつろがれている印象を持った。

（構成員）

このシステムはＪＲ東海、ＪＲ西日本、ＪＲ九州の３社で作成しているシステムになるが、システム担当部署には、当事者と介護者の予約方法を分かり易くすることや予約ガイドに詳しく掲載する等を伝える。

（事）

昨年度から枚方市総合交通計画の改定作業を進めており、改定の議論を進めていく中で2024年問題といわれる運転手不足により、本市においてもバス路線の減便が生じている状況である。ただし、

市民生活に影響が出るような廃線までは、現時点で生じてないが減便により、少なからず影響を与えているということは重く受け止めている。今回の計画を改定する中でも喫緊の課題として運転手不足への対応をしていく必要があると認識しており、京阪バスや国、大阪府と連携しながら運転手不足への対応を取り組んでいる状況である。また、不便になっている話は聞くが、近隣市である交野市や寝屋川市と比べると不便さが生じている程度まで至ってない認識であり、現時点での本市の考え方は、現在存在しているバス路線を維持することに注力をして様々な関係者、それから庁内連携して取り組んでいきたいと考えている。

（アド）

枚方市は近隣の交野市や寝屋川市と比較して不便さを感じていないとしているが、私はバス交通の維持は喫緊の課題と認識しており、その課題に踏み込まないともっとひどい状況になりかねないと考えている。大阪府内の自治体は今まで路線バスへの補助を殆どしていないが検討をしていく必要である。先程は市の立場での返答であったと思うが、市民の立場では昔と比べるとバスのダイヤが大きく変わってきているので、市民感覚と差異があると思う。

（事）

樟葉駅の芝生広場の範囲については、通常の主となる歩行者動線を外した形で設置をしており、人々が滞留できる空間として、様々なイベントを行ったり、待ち合いをしたり、夏場の暑い時は芝生広場によって暑熱環境対策になるという様々な効果がある。芝生広場の設置後は、市民の皆様の方からはご好評いただいており、今回芝生広場を設置した範囲については、人の動線としては問題がないと考えている。

（構成員）

市民の評価は具体的な調査や根拠があるのか。

（事）

市で調査はしていないが、色んな方やメール等をいただいており、イベント実施者の方ではアンケートを実施して概ね好評いただいている認識をしている。

（構成員）

当事者やユーザーの意見を聞いた上でのデザインを心がけていただきたいと思う。

（構成員）

心のバリアフリーについて、私自身も学校に行く機会があり、生徒から当事者の生の声が聞けて色々と勉強になったという感想をいただいている。このため、市が出前授業をする際には、障害当事者も講師として招いて授業を行う取り組みをぜひお願いしたい。

（事）

障害当事者が同行しての出前授業は可能だと思うので、その際はご協力をお願いしたい。

（構成員）

樟葉芝生広場について、私自身も芝生を利用している人が少ないと思っている。また、芝生には多くの鳩がおり、鳩に餌を巻いている人がいる。私達は鳩の糞がベンチに落ちていても分かりにくい。このため、市民に啓発するよう周知してほしい。

（事）

市として鳩の餌やり問題は重く受け止めており、常習的な餌やりが複数名いることも確認している。一般的に鳩は芝生を嫌うため、昨年５月に芝生広場がオープンしてから鳩が芝生に寄り付かなくなることを期待していた。しかし、鳩への餌やりによって鳩が寄り付いている別の要因があることを再認識した。それ以降、ベンチに啓発看板を設置して、鳩への餌やり行為が法に抵触する可能性があることや鳩への餌やりを見つけた場合は警察に通報するよう周知している。また、市の職員が定期的に見回りをして、餌やりをしている人には声かけを行っている状況であるが、現時点においても、餌やりをしている方がいることを確認している。このため、次の段階として、年度内に監視カメラを設置して、監視力、抑止力を高めるという目的と万が一、該当する方に指導する場合は、監視カメラを使いながら指導する方法を視野に入れており、段階的に取り組みを進めている。

（構成員）

枚方警察署の駐車場出入口から府道の歩道にある柵が約 5m 設置されていない。電動車イスで現場を通行する際は、段差による衝撃が大きいため、少しでも段差が低い箇所を探して警察署側を通っている。また、現場は縦断の傾斜がついているので手元が狂う時があり、警察署側に落ちる危険性がある。なぜ、柵を設置していないのか。

（事）

この件は違う会議においてもご意見をいただいている。所管しているのは大阪府であり、現在本市から大阪府に確認中である。今回においても事務局から大阪府に会議で要望があったことを伝えるので、大阪府から回答があれば改めてご報告させていただく。

⇒後日、以下のとおり構成員から要望内容について、回答あり。

構造上蓋掛けは難しいが、転落防止柵の設置については検討を行っていく。

（構成員）

人によっては反射板が設置されているのではないかと説明されるが、柵が有る無しでは状況が違うでお願いしたい。

（構成員）

電車に乗っている時に事故や地震などが起きて停車した場合、車内でアナウンスがあっても耳が聞こえない人は何が起きているのかが全く分からない状況である。スマートフォンにより情報を得ることができるが、情報の掲載に時間差があるため、すぐに情報を得られる機能を付けて欲しい。また、高齢者の中にはスマートフォン操作が不得意な人もいるため、ホームと電車の中で情報を発信できる掲示板を設置してほしい。

（構成員）

同様のご意見はいただいており、そのような表示をしていくように取り組んでいるところであると思うので、社内で確認した後に回答する。

⇒会議後、以下のとおり構成員から回答あり。

人身事故発生時等の列車運行情報はそれぞれの箇所で文字による案内を行っている。

・改札口：テレビモニターによる案内　（京阪線全駅）

・車　内：ドア上の液晶ディスプレイによる案内　（一部の車両を除く）

※車両の新造及び改修時に対応

・ホーム：行先表示器による案内　（一部の駅の除く）

※順次更新中

（構成員）

駅では改札前にある異常時ディスプレイで、リアルタイムに文字化して運行情報を掲示している。ホームでは列車の発車表の最下段にどこで何が起きているか等をテロップで流している。また、普通電車は、ドアの上やつり革の中心部の上段にディスプレイが設置された車両に順次更新を行っている状況である。

（構成員）

先日、西九条駅で電車に乗ったところ、沿線付近の火事に伴い電車が止まった。約１ 時間止まった後に順次に電車が動くアナウンスがあったが、一連の対応は親切ではなかった。我々でも心配になったが、外国人や目の見えない人、耳の聞こえない人は大変だと思った。

（構成員）

車掌や案内放送を含めた担当部署に情報提供させていただく。

（構成員）

車いすの方の通勤で補助をした際のことであるが、枚方市の駅舎では光善寺駅や牧野駅が、駅の改札の外にエレベーターがあり、それに乗って改札に向かうことになる。エレベーターのボタンの形状上、当事者はボタンが押せないため、駅関係者に案内を依頼したが、改札内以外の対応は難しいと言われたのでお伺いしたい。

車内の車いすスペースは、淀屋橋側を向いたら左側には必ず設置されているが、降りられるホ

ームによっては反対側に移動する必要があるため、できれば展開場含めて両方に設置できないか。また、床面に専用スペースであることを掲示してほしい。

JR の新幹線では車いす用として一般座席を外している箇所がある。プレミアムカーにおいても、同様に作ってもらい、当事者と介護者が並んで座れるような配慮をしてほしい。

枚方市駅北口駅前広場の拡幅について、車いす乗降スペースは広いが、車いす乗降スペースからエレベーター方向に歩いていくとバスの待ち合いの鉄柵が殆ど歩道上の半分が占めているおり、歩く空間が狭い。しかも鉄柵は点字ブロックに沿って設置されており、視覚障害者が杖を振ることや車いすの方が歩行者とすれ違うことも難しいため、空間の配分を変更することを検討してほしい。

（構成員）

光善寺駅、牧野駅についての運用については確認したうえで回答させていただく。

車いすスペースについては、国交省のバリアフリー基準に基づいて設置していることや座席数はお客様サービスとの兼ね合いにもなる。現在、古い車両から新しい車両に更新しており、新しい車両にはすべて車いすスペースを設置しているのでご理解いただきたい。

プレミアムカーについては、担当部署に情報提供する。

⇒後日、以下のとおり構成員から回答あり。

・ラッチ外の車椅子対応について（光善寺・牧野駅）

エレベーターの補助については、事前に枚方サポートダイヤルへご連絡頂ければ、係員無配置時間帯でも対応をさせていただく。但し、始発列車前や最終列車で係員の移動が無理な場合はお断りすることがある。また、係員が到着するまで時間を要する場合はお待ちいただく場合がある。エレベーターのボタンの押し込みが難しい方がいることを社内共有させていただく。

・プレミアムカーについて

プレミアムカーでは、車いすスペースの横に座席（2A、2B 席）を配置しており、車いす利用者と介助者が、並んで座れるようにしている。予約についても、2A、2B 席は、運行前日まで一般利用者の予約は不可としており、プレミアムカー券発売駅で車いす利用者が優先的に購入できるよう配慮している。また、ご乗車当日で 2A、2B 席に空きがある場合は、WEB（プレミアムカークラブ）でもご購入いただくことができる。なお、新幹線のように一般座席を外して更にスペースを設ける計画は今のところない。

（事）

北口駅前広場については、現在３ｍの歩道になっており鉄柵等があり、車いすの方がエレベーターへ向かう時に支障になっているが、整備後には６ｍの歩道になり、バス乗り場の待ち合いスペースと点字ブロックにおいても距離を取る計画としており、６ｍの中で配分していく予定である。

（構成員）

心のバリアフリーの動画は、過去にこの会議で観た動画であるか。

（事）

そのとおりである。

（構成員）

京阪電車の特急の新しい車両において、ドアの上の案内ディスプレイは片側しかない。古い車両には両側にディスプレイがあったが、なぜ無くなったのか。

（構成員）

防犯カメラの設置により、内部に機器を設置する関係で片側のみの設置になっている。ご不便はおかけするがご理解をお願いしたい、

５．閉会

（事）

閉会挨拶